

# 平成27年（2015年度） 第1回 学校協議会【議事録】

平成27年6月29日

13:15～14:45

はじめに

校長・准校長紹介、あいさつ

## ① 会長挨拶

学校協議会は学校の応援団だと思っており、忌憚のないご意見を出していただきたい。

## ② 協議会委員紹介

## ③ 報告

<「給食のきざみ食への要望」への対応について>

- ・学校協議会への要望をうけてきざみ食の全体の見直しを行った。きざみ食が学校の規定より小さくなりすぎないように、フードカッターをかける時間を減らすことや、魚などは箸でほぐすなどの対応をする。またきざみ食と普通食の間に、「柔らか煮食」を設ける。この対応で、今回の要望にも対応できるし、今後の保護者の選択肢も広がる。

<平成27年度 学校経営計画について>

[学校長より]

- ・今年度の変更点に絞って説明する。
- ・校内環境の整備は、全教職員でより安全な状態になるよう整理や整備を進めている。
- ・教育のイノベーションでは、自立活動で楽スタの導入、iPadを個人購入し授業で活用すること、ハンドサッカー（新しいスポーツ）を授業に取り入れるなどを行っていく。
- ・コンクールや検定は生徒のチャンスを広げるので、各学部で取り組みを進めていきたい。
- ・教員の専門性の向上では、重度知的障がい等に関する専門性の向上など、校内研修のカリキュラム化を目指して取り組んでいる。

[准校長より]

- ・高等部は新1年生から新教育課程を実施しており、学年制を基礎とした学習集団で活動している。新課程では2年次から選択制の授業を設け、その中に職業コースを設けている。
- ・職業教育委員会を設け、キャリア教育の観点に立って、職業教育がより充実するように教育活動を進めていく。新たな作業科目の設定も試みている。喫茶サービスの設備を寄贈していただき、今年度より作業科目としての授業がスタートした。
- ・追手門大学の清掃の実習を開拓中である。

<授業評価について>

[教頭より]

- ・授業評価は、教員の授業力の向上を目的として継続して実施する。授業参観の際の生徒と保護者からのアンケートは、授業評価の一部として活用する。
- ・今年度は授業参観の期間を、春・秋とも各1週間に延ばした。
- ・今回の授業参観のアンケート結果については、第2回学校協議会で報告する。

<本年度の使用教科書について>

[教務部長より]

- ・使用教科書一覧（別添資料）は、本年度使用分の一部を抜粋したものである。

- ・実際の教科書を見て、ご意見をいただきたい。

<その他 平成26年度末に起こった事案についての報告>

[准校長より]

- ・平成26年度末に起こった個人情報の誤配布・紛失事案についての報告。
- ・保護者への対応、保護者説明会の実施、教職員への研修、処分について報告。
- ・今後、二度と起こらないよう、教職員全体で信頼回復に努めていく。

<質疑> ※●は協議会委員からの意見、提言等 Qは質問 Aは学校の回答

- 個人情報の管理は、活用と保管の両面から考えなければならず、難しい面がある。

#### ④ 協議

- ヒヤリハットについては、不用意・不注意からの事故は前年よりも減っている。安全面については、学校にずっといると気づかないところもあるが、外部が見ると気づくこともあるので、外部の意見も役立ててはどうか。

Q. 国際理解について具体的な取り組みはあるか？

A. 外国人講師を招いて、国際理解の授業を行っている。

Q. 「自信を持つ教員の割合を増やす」とあるが、今年度の体育祭の雨天延期後の教員の対応で、残念な部分があった。このようなことに教員の自信は影響しているのか。

A. 学校経営計画に書かれている自信・専門性は授業（指導・支援）のことであり、ご指摘の悪天候時の行事をどうするかという問題とは別である。体育大会が2回目の延期になった時点で、職員会議等を開催して決めていればよかったと反省している。今後は、良い形で実施できるよう検討をすすめていく。

- 教員はやりたいと思っても、様々な条件で行事を実施できないこともある。学校行事なので最終的には管理職が責任を持って決定することになる。次年度以降もうまくいくようにしてほしい。

- コンクールや検定へのチャレンジはいいことだと思う。さまざまな分野で実施してほしい。児童生徒が参加できるものを教員も調べ、前向きに対応してほしい。

- 授業参観について、たくさんの保護者が来られるよう、PR不足のないようにしてほしい。また、今回の参加状況などの報告を次回にお願いしたい。

Q. 教科書の中の手話の本はどのように活用しているのか。

A. 手話の習得が必要な子どももいるので、その子や周りの子どもの国語として使っている。今は、手話は重要なコミュニケーション手段となっている。

Q. 教科書の活用はどのようになっているか。

A. 現在は一般図書も幅広く教科書として選べるようになった。国のほうではデジタル教科書も研究されており、本校でも子どもに合った教科書を選定するよう工夫している。

- 教科書の使い方は様々だが、一部でもいいので選定した教科書を使うことは大切だと思う。保護者にも理解していただける使い方をしてほしい。

#### ⑤ 諸連絡 第2回学校協議会の日程の確認。